

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52305	保育内容(人間関係) Contents of Child Care and Education (Human Relations)	井手 裕子			1	必修	2前期

科目の概要

保育所での養護および幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領に示された当該領域のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深める。幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定した指導案を作成し保育を構想する方法を身に付ける①②③④⑥。特に保育内容の領域「人間関係」は、子どもの社会性の発達過程について、心理的な側面と教育的な側面から理解する必要がある。人間は、人や自然との関わりの中で生きており、人間関係の中で、社会性を養い、人間社会の生き方を学んでいく。保育所・幼稚園でも、そうした力の基礎を育てていく必要がある。そこで、この授業では、子どもの社会性の発達についての基本的知識を理解し、保育者がクラスづくりや集団遊びを進め、子どもの人間関係をつくる力を育てる上で、必要な知識や実践的方法(指導計画作成・実践法)を身に付ける。そのうえで、課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。以上はディプロマポリシー(DP)①②③④⑥に相当する。

学修内容	到達目標
① 乳幼児の社会性の発達と人間関係の広がりについて学ぶ。 ② 乳幼児の遊びの発達と、それに伴う大人との関係、子ども同士の関係について理解を深める。 ③ 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領にみられる人間関係について学ぶ。 ④ 保育現場の実践例を基に幼児の仲間づくりと保育者の援助について学ぶ。 ⑤ 指導案の重要性を理解し、保育の現場で発達促進的な関わりを行うための方策を理解する。	① 乳幼児の認知、思考、運動発達等を視野にいたれた保育の構想の重要性を理解し、実際に構想することができる。②③④⑥ ② 各年齢に応じた遊びの発達を視野に入れながら、保育者がどのように関わることが、人間関係の発達に貢献できるかを説明できる。①②③④ ③ 幼稚園教育要領、保育所指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された幼稚園教育、保育指針、幼保連携の基本を踏まえ、各領域のねらい及び全体構造を理解し人間関係の項目を説明できる。②③④ ④ 具体的な仲間関係の構築を想像し、人間関係や仲間づくりを支援する方策を考え構成することができる。①③④ ⑤ 指導案の構成を踏まえた具体的な指導場面を想定し、人間関係を促進させるための指導案を作成することができる。①④⑥

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	事例検討、調べ学修等を、自発的に発表するなど、主体的に行うことができる。遅刻、居眠りを注意されないようにする。(注意された回数により減点あり)
	働きかけ力	
	実行力	学修内容が十分に理解できるように積極的に取り組むことができ、事例検討、グループ討議等の困難な課題にも粘り強く取り組むことができる。提出物、指示された課題について、期限を守ることができる。
考え抜く力	課題発見力	学修した内容についての問題点を認識し、学んだ知識をもとに問題解決を導くことができる。
	計画力	
	創造力	学修した内容を実際にどのように応用し役立てていくかを想像し、それを土台とした自らの新しい発想を通して考えることができる。
チームで働く力	発信力	自分の意見を具体的に分かりやすく発表することができる。
	傾聴力	私語をせず、発表者の意見を、自分の立場に置き換え、発表者の意図を汲み取りながら聴くことができる。課題の提出期限を把握できる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：保育内容「人間関係」アクティベート保育学8 (¥2,000+税)
 その他に資料を随時配布する。
 参考文献：幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説平成30年3月(最新版)、幼稚園教育要領解説平成30年3月(最新版)、保育所保育指針解説平成30年3月(最新版)

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：保育の心理学、幼児理解、教育心理学、保育内容(環境)等
 資格との関連：幼稚園教諭二種免許、保育士、准学校心理士

学修上の助言 **受講生とのルール**

理論と実践が結びつけられるようにしてほしい。そのため、まず知識を得ること、次に実習を行い、知識がどのように実習に生かされたかを確認すること。その繰り返しを行うことで、実際の保育場面において、実践が可能となる。	授業は集中して聞き、疑問点、質問がある場合は積極的に質問すること。 ・20分を超えた遅刻は欠席扱いとする。 ・授業態度が悪い場合(居眠り、私語、周囲に迷惑をかける行為等)はマイナス扱いとすることがある。 ・課題提出について、「レポートの書き方のルール」に添わない場合、減点する。
--	--

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①	✓			
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
	平常評価	小テスト		0	①	✓		
					②	✓		
					③	✓		
					④	✓		
					⑤	✓		
		レポート		90	①			人間関係を促進させるための遊びを構想し、指導案を作成する。 レポート：指導案をもとに、どこにどのような根拠で人間関係を促進させる場面があるかをレポートする。
					②			
					③			
					④			
					⑤			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①					
			②					
			③					
			④					
			⑤					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		(主体性) 課題や疑問に対し能動的に学修を進めることができる。 (実効力) 与えられた課題に積極的に取り組むことができる。締め切りを守る。 (課題発見力) 学修した内容の問題点を認識できる。 (創造力) 学修した内容を応用できるように想像し考えることで新しい発想を創造できる。 (発信力) 自分の意見を具体的にわかりやすく相手に伝えることができる。 (傾聴力) 私語をせず人の話を聞き、メモをとることができる。 (規律性) ・遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の発達と人間関係の発展が実践例も参考にしながらしっかり理解できる。 ・保育としての「人間関係」の概要を理解できる。 ・遊びと人との関わりについて理解できる。 ・授業で学んだことを応用し、保育の実践現場で生かす事例を具体的に表現できる。 総合評価90点以上S, 89～80A	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の発達と人間関係の広がりがわかる。 ・保育としての「人間関係」の概要を理解できる。 ・遊びと人との関わりについて理解する。 総合評価79～70B, 69～60C

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	授業のねらいと内容について理解する。保育内容人間関係の概要について教科書第1章、第2章の解説による保育内容(人間関係)の重要性について本授業の自分の到達目標を立てる。(何を学びたいか記述する。)	講義 目標設定のレポート課題。(提出課題)	授業のねらいが理解できる。 保育内容(人間関係)の概要について理解できる。 授業到達目標を立て、授業の具体的なイメージを持つことができる。	予習:教科書第1章、第2章を読み、「ひびきを聴く」の意味を考える。 復習:保育内容(人間関係)の概要について復習する。 自分の到達目標を立てる。(提出課題)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	乳幼児の社会性の発達について学ぶ。	前回の授業の質疑応答(コメントシートへのフィードバック及び解説) NotebookLMによる予習の質疑応答 講義 演習	乳幼児の社会性の発達について理解できる。 幼児期の社会的環境の重要性が理解できる。	予習:事前配布資料を読んでおく。分からない用語をネット等で調べる。事前配布資料(classroomより配信)をNotebookLMに取り込み、理解できないところは調べ、質疑に備える。 復習:乳幼児の社会性の発達と幼児期の社会的環境について復習する。	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	人間関係からみた遊びと発達と幼児期の発達支援について学ぶ。遊びの発達について、配布の表を作成する。「砂場あそび」の指導案構想を行う。	前回の授業の質疑応答(コメントシートへのフィードバック及び解説) NotebookLMによる予習の質疑応答 講義・演習	人間関係からみた遊びと発達と幼児期の発達支援が理解できる。	予習:事前配布資料を読んでおく。分からない用語をネット等で調べる。 復習:幼児の遊びと発達と児期の発達支援について復習する。 授業時配布のプリントを作成する。(自筆、word 選択可)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	①「非言語サインとコミュニケーション」について ②「砂場あそび」の指導案を完成させる。子どもが成長発達をしていくための課題設定や支援の方法を学ぶ	前回の授業の質疑応答(コメントシートへのフィードバック及び解説) NotebookLMによる予習の質疑応答 講義 グループ討議	①非言語サインの意味を理解し、非言語コミュニケーションのやりとりができる。 ②「砂場あそび」の指導案を作成し、子どもに対してどのような関わりを行うべきかが説明できる。	予習:事前配布資料を読んでおく。分からない用語をネット等で調べる。事前配布資料(classroomより配信)をNotebookLMに取り込み、理解できないところは調べ、質疑に備える。 復習:非言語コミュニケーションの内容、「砂場あそび」の指導案完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	遊びと人の関わりからみた幼児の社会性の発達について学ぶ。社会的生活習慣について学ぶ。	前回の授業の質疑応答(コメントシートへのフィードバック及び解説) NotebookLMによる予習の質疑応答 講義・演習	遊びと人の関わりからみた幼児の社会性の発達が理解できる。幼児の社会的生活習慣の重要性が理解できる。	予習:事前配布資料を読んでおく。分からない用語をネット等で調べる。事前配布資料(classroomより配信)をNotebookLMに取り込み、理解できないところは調べ、質疑に備える。 復習:幼児の社会性の発達と社会的生活習慣について復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	乳幼児の仲間づくりと保育者とのかかわりについて学ぶ。	前回の授業の質疑応答(コメントシートへのフィードバック及び解説) NotebookLMによる予習の質疑応答 講義・事例問題の討議 演習	乳幼児の仲間づくりと保育者とのかかわりについて理解できる。	予習:事前配布資料を読んでおく。分からない用語をネット等で調べる。事前配布資料(classroomより配信)をNotebookLMに取り込み、理解できないところは調べ、質疑に備える。 復習:幼児の仲間づくりと保育者とのかかわりについて、討議を整理する。(自筆、word 選択可)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	事例検討(乳児と保育者の関係性と課題)を行う	前回の授業の質疑応答(コメントシートへのフィードバック及び解説) NotebookLMによる予習の質疑応答 講義・演習	乳児が成長発達をしていくための課題設定や支援の方法を説明できる。	予習:事前配布資料を読んでおく。分からない用語をネット等で調べる。事前配布資料(classroomより配信)をNotebookLMに取り込み、理解できないところは調べ、質疑に備える。 復習:事例検討についてNotebookLMと対話し、違う見解を導き出す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	前半の授業内容を総括しまとめる。(ミニテスト) 事例検討ー保育者と子ども、子ども同士の関わりについて学ぶ。(3歳未満児)	前回の授業の質疑応答(コメントシートへのフィードバック及び解説) NotebookLMによる予習の質疑応答 ミニテスト 講義	保育者と子ども、子ども同士の関わりについて理解できる。	予習:NotebookLMに取り込んだ資料をもとに、ミニテストの準備を行う。 復習:前半の授業内容をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	『幼稚園教育要領解説』『保育所保育指針解説書』に記されている「人間関係」について学ぶ。 事例検討ー保育者と幼児との関係性について(事例検討ー3歳以上)	前回の授業の質疑応答(コメントシートへのフィードバック及び解説) NotebookLMによる予習の質疑応答 講義 グループ討議、発表	人間関係に関する記述を比較しながら理解できる。	予習:『幼稚園教育要領解説』『保育所保育指針解説書』の人間関係に関わる部分を読む。事前配布資料(classroomより配信)をNotebookLMに取り込み、理解できないところは調べ、質疑に備える。 復習:理解したことをまとめて実習に備える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に記されている「人間関係」について学ぶ。	前回の授業の質疑応答(コメントシートへのフィードバック及び解説) NotebookLMによる予習の質疑応答 講義 グループ討議 発表	『幼保連携型認定こども園教育保育要領』に記されている「人間関係」領域を理解し、9週目で行った幼稚園、保育所のそれとの比較ができる。	予習:事前配布資料(classroomより配信)をNotebookLMに取り込み、理解できないところは調べ、質疑に備える。 復習:比較した保育要領等を記述する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	人間関係の発達を促す場面を想定した指導案作成と、レポート作成。	前回の授業の質疑応答(コメントシートへのフィードバック及び解説) NotebookLMによる予習の質疑応答 レポート作成を行う。	幼・保における子どもの人間関係の発達と保育者の関わりへの理解ができ、紙面で表現できる。	予習:事前配布資料(classroomより配信)をNotebookLMに取り込み、理解できないところは調べ、質疑に備える。 復習:指導案をレポートを書く。(自筆、word 選択可)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	乳幼児の発達と、それに伴うおとなとの関係、子どもどうしの関係の広がり、遊びの発達について視聴覚教材を活用し系統立てて学ぶ。0、1、2歳児の「人間関係」を促す遊びにおける指導案を作成する。完成させた者は発表する。	前回の授業の質疑応答(コメントシートへのフィードバック及び解説) NotebookLMによる予習の質疑応答 講義 グループ討議 発表	遊びの発達と人間関係の広がりについて理解できる。視聴覚教材を活用した方法を学ぶ。指導案作成について考えられる。	予習:どのような遊びを指導案に記述するか考える。自分の指導案をNotebookLMに取り込み、指導案に対する対話を行ってみる。 復習:配布された資料を読み直し、発達と人間関係の広がりについて整理する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	実践例を基にしながら、保育所における3歳児の人間関係について理解する。指導案を作成し、発表する。	前回の授業の質疑応答、コメントシート、及び前回配布資料のフィードバック及び解説 NotebookLMによる予習の質疑応答 講義 グループ討議、発表。	3歳未満児の人間関係について理解し、幼児理解を深め、指導計画を記述することができる。	予習:3歳児の発達と指針に合った遊びを考える。自分の指導案をNotebookLMに取り込み、指導案に対する対話を行い、よりよいものにする。 復習:レポートのためのポイントをまとめておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	実践例を基にしながら、保育所における4、5歳児の仲間づくりについて考える。指導案を作成する。	前回の授業の質疑応答、コメントシート、前回配布資料のフィードバック、及び解説 NotebookLMによる予習の質疑応答 講義 グループ討議、発表。	4、5歳児の人間関係の発達、仲間づくりについて理解し、幼児理解を深め、指導計画を記述することができる。	予習:発達と遊びに合った遊びを考える。自分の指導案をNotebookLMに取り込み、指導案に対する対話を行ってみる。 復習:指導案作成とレポートを仕上げる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	保育所、幼稚園における人間関係に焦点を当てた教育課程と、それに基づく実践例を読みながら、人間関係の発達に関する理解を深める。	前回の授業の質疑応答、コメントシートのフィードバック及び解説 NotebookLMによる予習の質疑応答 講義 グループ討議 発表	保育所指針、教育課程とそれに基づく実践事例から、人間関係の発達について理解できる。(3歳未満児、3歳児、4歳児、5歳児)	予習:事例の事前配布資料を読み、問題点と解決策を考える。自分の指導案をNotebookLMに取り込み、指導案に対する対話を行い、よりよいものにする。 復習:資料を基に、学んだことをまとめる。(自筆、word 選択可)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力